

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
153	2007/03/09	60950	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド	ビーフハートインフュージョン	ウシの心臓	インド、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
154	2007/03/09	60951	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド 沈降破傷風トキソイド	ウシ肉エキス	ウシの肉、骨、脂肪	日本、ブラジル、インド、米国、オーストラリア、ニュージーランド (現在日本、米国、ブラジル、インド産は使用していない)	製造工程	無	無	無			
155	2007/03/09	60952	阪大微生物病研究会	破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド コレラワクチン 沈降破傷風トキソイド	スキムミルク	ウシの乳	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
156	2007/03/09	60953	阪大微生物病研究会	百日せきワクチン 破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド コレラワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ポリペプトン	ウシの乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
157	2007/03/09	60954	阪大微生物病研究会	発疹チフスワクチン	卵黄囊	発育鶏卵	該当なし(製造中止品目)	製造工程	無	無	無			
158	2007/03/09	60955	阪大微生物病研究会	インフルエンザワクチン インフルエンザHAワクチン	尿膜腔液	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
159	2007/03/13	60956	日本シェーリング	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
160	2007/03/14	60957	持田製薬	インターフェロン ベータ	トリプシン	ブタ膵臓	—	製造工程	無	無	無			
161	2007/03/14	60958	持田製薬	インターフェロン ベータ	カルボキシペプチダーゼ	ブタ膵臓	米国	製造工程	無	無	無			
162	2007/03/14	60959	持田製薬	インターフェロン ベータ	インターフェロン ベータ	ヒト線維芽細胞	日本	有効成分	無	無	無			
163	2007/03/14	60960	味の素	パルナパリンナトリウム注射液	パルナパリンナトリウム	健康なブタの腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	エルシニア感染	J Med Microbiol 2006; 55: 747-749	<p>散発性エルシニア症の感染経路については、ブタと人との関連性は証明されていない。1995年から2003年にかけて、フィンランドとドイツで下痢のヒト282名の便およびブタ534頭の糞などから得た検体から単離された合計816株のY. enterocolitica 4/O:3を、制限酵素を使ったPFGEで関連性を検討した。その結果、両国共、ヒト由来株のほとんどはブタ由来株と区別ができず、一方、遺伝子型の大部分(182例中178例)は両国で異なっていた。ブタがヒトエルシニア症の重要な起源であることが示唆された。</p>
												ブドウ球菌感染	Ned Tijdschr Geneesk 2006; 150: 1710-1712	<p>最近、オランダで養豚業者がしばしばMRSAを保有することが報告されている。これらのMRSA株はブタでみられるMRSA株と関係がある。ケースコントロール試験の結果、ウシ飼育業者もMRSAキャリアである危険性が明らかとなった。養豚業者が入院する場合は、MRSA陰性と分かるまで、隔離するように勧告する。</p>

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												旋毛虫症	Vet Parasitol 2006; 140: 177-180	イタリアの地中海諸島Sardiniaで、初めて旋毛虫症が発生した。アウトブレイクは2005年に2つの村で起こり、同じブタから作った生のソーセージを食べたヒト11名が感染した。11名全員が旋毛虫症の症状を示し、摂食後48日以内に抗体陽転した。病原体はTrichinella britoviであった。
												インフルエンザ	ProMED-mail20070108.0077	アイオワ州東部でブタインフルエンザ陽性患者1例が確定された。州当局は警戒の必要はないとしている。患者は入院せずに回復した。ヒトからヒトへの感染の証拠はなかった。このウイルスはヒトに感染しにくく、ヒトはかなり抵抗性を持っている。
164	2007/03/15	60961	ファイザー	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタの腸	米国	有効成分	無	無	無			
165	2007/03/15	60962	日本メジフィックス	放射性医薬品基準テクネチウム大凝集人血清アルブミン(99mTc)注射液	テクネチウム大凝集人血清アルブミン(99mTc)	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無			
166	2007/03/19	60963	伊藤ライフサイエンス	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
167	2007/03/19	60964	日本シェーリング	インターフェロンベータ-1b(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	アメリカ	添加物	有	無	無	HHV-8感染	N Engl J Med 2006; 355: 1331-1338	2000年12月から2001年10月に輸血を受けたウガンダのKampalaの患者1811例のうち、輸血前にヒトヘルペスウイルス8型(HHV-8)血清陰性であった患者991例について追跡調査を行った。そのうち43%(425例)にHHV-8血清陽性血が輸血された。991例中41例にHHV-8セロコンバージョンが起こったが、セロコンバージョンのリスクは陽性血を輸血された患者の方が陰性血を輸血された患者より有意に高かった。
168	2007/03/20	60965	化学及血清療法研究所	人免疫グロブリンヒスタミン加入免疫グロブリン製剤	免疫グロブリン	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	クロストリジウム感染	YOMIURI ONLINE (2007年2月23日読売新聞)	千葉県船橋市立医療センターは22日、同県内の50歳代の男性が、主に牛の病気の原因とされる「気腫菌」に感染し、死亡したことを明らかにした。人への感染が報告されたのは世界初である。気腫菌は傷口などから動物の体内に入り、筋肉が壊死する「気腫」を発症させる。同センターは、「気腫菌は人には感染しないというのがこれまでの常識だった。詳しい感染経路を調べるのが今後の課題」としている。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
169	2007/03/20	60966	化学及血清療法研究所	ウイルス病治療血清	血清	ウサギ血液		製造工程	無	無	無			
170	2007/03/20	60967	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無	無	無			
171	2007/03/20	60968	化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	まむしウマ抗毒素	ウマ血液	日本	有効成分	無	無	無			
172	2007/03/20	60969	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド ウイルス病治療血清 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
173	2007/03/20	60970	化学及血清療法研究所	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	発育鶏卵	ニワトリ発育鶏卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザ	宮崎県農政水産部 平成19年1月13、16、18日 プレスリリース	平成19年1月12日、宮崎県宮崎郡清武町の肉用種鶏飼養農場において、飼養鶏からA型鳥インフルエンザウイルスと思われるウイルスが分離された。13日、動物衛生研究所での検査の結果、当該ウイルスがH5N1亜型のA型インフルエンザであることが確認され、防疫対応が決定された。18日、病原性判定試験の結果、強毒タイプのウイルスであることが判明した。
174	2007/03/20	60971	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素 乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ガスエソウマ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥ボツリヌスウマ抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ペプシン	ブタ胃	米国	製造工程	無	無	無			
175	2007/03/20	60972	化学及血清療法研究所	ウイルス病治療血清	肝臓	モルモット肝臓		製造工程	無	無	無			
176	2007/03/20	60973	化学及血清療法研究所	ウイルス病治療血清	血液	モルモット血液		製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
177	2007/03/20	60974	化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	ハートエキス	クジラ心臓	捕鯨国:日本	製造工程	無	無	無			
178	2007/03/20	60975	化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素	はぶ毒	ハブ毒素	日本	原材料	無	無	無			
179	2007/03/20	60976	化学及血清療法研究所	乾燥まむしウマ抗毒素	まむし毒	マムシ毒素	日本	原材料	無	無	無			
180	2007/03/20	60977	化学及血清療法研究所	乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	脳	マウス脳	日本	製造工程	無	無	無			
181	2007/03/19	60978	メルク	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸	中国	有効成分	無	無	無			
182	2007/03/20	60979	フジモト・ダイアグノスティックス	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	日本白色種家兔、皮膚抽出液	中国	有効成分	有	無	無	野兔病	Jpn J Infect Dis 2006; 59: 391-393	トルコのトラキア地域における野兔病流行について調べた。Demirkoy村では2005年に流行したが、村民400人中266人が採血され、患者、家畜および水源の検査が行われた。患者10例中7例が口腔咽頭型で、3例が無症候性であった。培養では野兔病に陰性であったが、PCR検査ではリンパ節吸引物1例と井戸水1例で陽性であった。数例の家畜は低レベルの特異抗体を有した。付近のげっ歯類の増加、野兔への暴露、感染した井戸水の飲用は危険因子として同定され、治療および予防措置がとられた。
183	2007/03/22	60980	北里研究所	コレラワクチン	ウシ心臓抽出物	ウシ心臓	米国、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
184	2007/03/22	60981	北里研究所	コレラワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
185	2007/03/22	60982	北里研究所	コレラワクチン	ビーフエキストラクト	ウシ筋肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
186	2007/03/22	60983	北里研究所	コレラワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	スキムミルク	ウシ乳	米国	製造工程	無	無	無			
187	2007/03/22	60984	北里研究所	コレラワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ペプトン	ウシ乳	中国、 ニュージー ランド、ポー ランド	製造工程	無	無	無			
188	2007/03/22	60985	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ラクトアルブ ミン水解物	ウシ乳	オーストラ リア、ニュー ジーランド	製造工程	無	無	無			
189	2007/03/22	60986	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	エリスロマイ シンラクビ オン酸塩	ウシ乳	ニュージー ランド、カナ ダ、米国	製造工程	無	無	無			
190	2007/03/22	60987	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ウシ胎児血 清、新生仔 牛血清	ウシ血液	ニュージー ランド、オー ストラリア	製造工程	無	無	無			
191	2007/03/22	60988	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	乳糖水和物	ウシ乳	ニュージー ランド	添加物	無	無	無			
192	2007/03/22	60989	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	コレステロー ル	ヒツジ毛	オーストラ リア、ニュー ジーランド	製造工程	無	無	無			
193	2007/03/22	60990	北里研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド	ヒツジ血清	ヒツジ血液	米国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
194	2007/03/22	60991	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	トリブシン	ブタ臍臓	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	スピロヘータ感染	Emerg Infect Dis 2006; 12: 869-870	様々な地域のブタ、ニワトリ、ヒト等から分離された B.pilosicoli 分離株107株と B. aalborgi 基準株 (NCTC11492T)との関連性を調査するため、多座位酵素電気泳動(MLEE)解析を実施した。構成酵素の特徴が同一である分離株を1つの電気泳動型(ET)に群化した。その結果、B. pilosicoli 分離株は80ETに分類され、B. aalborgi とは明確に区別された。一般的に、起源の宿主種によって群化せず、特定の種に由来する分離株は系統樹全体に分布していた。
195	2007/03/22	60992	北里研究所	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程	有	無	無	スピロヘータ感染	Emerg Infect Dis 2006; 12: 869-870	60991に同じ
												鳥インフルエンザ	Proc Natl Acad Sci USA 2006; 103: 16936-16941	南中国の市場調査による最新のウイルス学的及び疫学的所見によると、H5N1型鳥インフルエンザが様々な家禽において流行している。遺伝子及び抗原の分析から、2005年の後半以降、家禽において新たなH5N1型ウイルスの系統(福建株)が出現し、優勢となり、中国での最近のヒト感染を引き起こしていることが明らかになった。既に香港、ラオス、マレーシア、タイへ伝播している。市場の家禽におけるH5N1抗体陽転が低いことから、家禽へのワクチン接種が福建株系統の選択を助長している可能性が示唆された。
												鳥インフルエンザ	農林水産省 プレスリリース 平成19年 2月14日	宮崎県日向市、新富町、岡山県高梁市の鶏舎において高病原性鳥インフルエンザH5N1型が発生した。第3回高病原性鳥インフルエンザ感染経路究明チーム検討会では、国内へのウイルスの持ち込みについて、渡り鳥が関与している可能性を想定した。また、鶏舎内へのウイルスの持ち込みは、野生生物(野鳥、ネズミなど)が関与している可能性があることから、発生農場周辺の野生生物に関する調査や今回分離されたウイルスを用いて、アイガモ、マウス、ラットなどを用いた感受性(接種)試験を実施する必要がある。
196	2007/03/22	60993	北里研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	ニワトリ胚初代培養細胞	孵化鶏卵	日本、米国	製造工程	有	無	無	スピロヘータ感染	Emerg Infect Dis 2006; 12: 869-870	60992に同じ
												鳥インフルエンザ	Proc Natl Acad Sci USA 2006; 103: 16936-16941	60992に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
												鳥インフルエンザ	農林水産省 プレスリリース 平成19年2月14日	60992に同じ
197	2007/03/22	60994	北里研究所	日本脳炎ワクチン	マウス脳乳液	マウス脳	日本	製造工程	無	無	無			
198	2007/03/22	60995	北里研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド	ウマ血清	ウマ血液	米国	製造工程	無	無	無			
199	2007/03/22	60996	北里研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降破傷風トキソイド	ウマ脱繊維素血液	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
200	2007/03/23	60997	田辺製薬	インプリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	有	無	有	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: 956-963	最近、大規模なスクリーニングによって、従来とは異なるPrPresがウシにおいて発見された。これらもまた別のプリオン株を代表するかを調べるため、H型と呼ばれる高分子量のウシの単離体を、ウシまたはヒツジのPrPを発現するトランスジェニックマウスに接種した。全てのマウスは神経学的症状を呈し、この株に感染し、感染性プリオンの新規の株であることが示された。この病原体は、BSE病原体およびヒツジスクレイピー病原体とは明らかに異なる特有の神経病理学的特徴を示した。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC 2006年11月29日	米国で3例目のvCJD症例が確定された。サウジアラビアで生まれ育った若年成人で、2005年後半から米国に住んでいる。2006年11月下旬にアデノイドおよび脳生検により確定診断された。この患者に輸血歴やヨーロッパ訪問歴はなく、子供の頃にサウジアラビアでBSE感染牛製品を摂取したことが原因と思われる。この患者に供血歴はなく、公衆衛生学的調査により、米国住民へ伝播の危険はないと同定された。
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet 2006; 368: 2226-2230	ヒト濃縮赤血球に混入した脳由来の感染性物質を約4 log ID50減らすことのできるアフィニティ樹脂L13と同等能力のL13Aについて、血中に存在する内因性TSE感染性物質の除去能力を評価した。スクレイピーに感染させたハムスターの全血は白血球除去によって感染性の72%が除去された。99匹中15匹が白血球除去した全血に感染したが、更に各々の樹脂を通過して得られた最終産物を接種された96匹又は100匹はいずれも発症しなかった。樹脂によって内因性TSE感染性物質が除去されることが示された。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Health Protection Report 1(3) 2007年 1月19日	英国で4例目の輸血関連vCJD可能性例が診断された。この症例は供血後約17ヶ月でvCJDを発症したドナーからの赤血球輸血を受け、8年半後にvCJDを呈した。このドナーは3例目の輸血関連vCJD症例へのドナーでもある。4例目の症例はプリオン蛋白遺伝子のコドン129がメチオニンホモ体であった。この患者は生存している。
												BSE	FDA News; P07-04, 2007年1月11日	FDAはBSEセーフガードとして医薬品や医療機器で、特定のウシ原料を禁止することを提案した。禁止される原料は、30月齢以上のウシの脳、頭蓋骨、眼および脊髄、全てのウシの扁桃腺および小腸の一部、ヘタリウシの全ての部位、検査を合格していないウシの全ての部位などである。
201	2007/03/23	60998	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシリボプロ テイン	ウシ血液	米国	製造工程	有	無	有	異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: 956-963	60997に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	CDC 2006年11月29 日	60997に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Lancet 2006; 368: 2226-2230	60997に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Health Protection Report 1(3) 2007年 1月19日	60997に同じ
												BSE	FDA News; P07-04, 2007年1月11日	60997に同じ
202	2007/03/23	60999	田辺製薬	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアポト ランスフェリン	ウシ血液	米国、カナ ダ	製造工程	有	無	有	異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: 956-963	60997に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	CDC 2006年11月29 日	60997に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Lancet 2006; 368: 2226-2230	60997に同じ
												異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	Health Protection Report 1(3) 2007年 1月19日	60997に同じ
												BSE	FDA News; P07-04, 2007年1月11日	60997に同じ

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要
203	2007/03/23	61000	田辺製薬	インプリキシマブ(遺伝子組換え)	マウス骨髄腫由来細胞	マウス骨髄腫		製造工程	有	無	有	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	PLoS Pathogens 2006; 2: 956-963	60997に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC 2006年11月29日	60997に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Lancet 2006; 368: 2226-2230	60997に同じ
												異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Health Protection Report 1(3) 2007年1月19日	60997に同じ
												BSE	FDA News: P07-04, 2007年1月11日	60997に同じ
204	2007/03/23	61001	光製薬	ダルテパリンナトリウム注射液	ダルテパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国	有効成分	有	無	無	感染	ProMED-mail20060903.2508 ProMED-mail20060908.2549 OIE Disease Information 19(38) 2006年9月21日 ProMED-mail20061129.3387 ProMED-mail20070114.0185	2006年6月末以降、中国の6つの省で、高熱、皮膚の発赤、呼吸促進を特徴とする疾患で死亡した。調査の結果、古典的ブタ熱、ブタ生殖器および呼吸器症候群、ならびにブタサーコウイルスの混合感染に関連する事が明らかとなった。
												レンサ球菌感染	Emerg Infect Dis 2006; 12: 1203-1208 PLoS Med 2006; 3: e151	2005年7-8月に中国四川省で発生したStreptococcus suis serotype 2(SS2)感染のアウトブレイクについて調べた。99の分離株のうち97株がシークエンスタイプ7であった。ヒト感染患者の臨床的、病理学的特徴は典型的な連鎖球菌中毒ショック症候群であった。2005年の流行ならびに1998年に江蘇省で流行した時のヒトおよびブタの検体から単離した菌の遺伝子型を調べたところ、両者は共通した遺伝子型を有していた。またミニブタでの感染実験で強い毒性を示した。
												口蹄疫	OIE Disease Information 19(46) 2006年11月16日	中国における口蹄疫のFollow-up report No. 14(2006年10月17日から11月16日まで)。病因の同定-口蹄疫ウイルスセロタイプアジア1。新規アウトブレイクの詳細-Chongqing省Wanzhou郡: ウシ疑い例13例、症例3例、処分13例。ブタ疑い例72例、処分72例。Gansu省Yongdeng郡: ウシ疑い例181例、症例9例、処分181例。